

YAMAGUCHI UNIVERSITY HOSPITAL

私がほほ笑んだ、
患者さんもほほ笑んだ
救われたのは私だった



RECRUIT GUIDE
看護職員募集案内



山口大学医学部附属病院

Yamaguchi University Hospital

山口大学

特定機能病院・大学病院として 果たす看護の使命

MISSION

- ・人々のいのち・尊厳・くらしをまもり支えること
- ・専門性の高い医療を受ける患者さんが、適切に最適な（患者さんの意思を尊重した）医療が受けられるように支援すること
- ・専門性の高い医療を受けた患者さんが、地域に戻って自分らしい生活が再生できるように支援すること



看護部理念

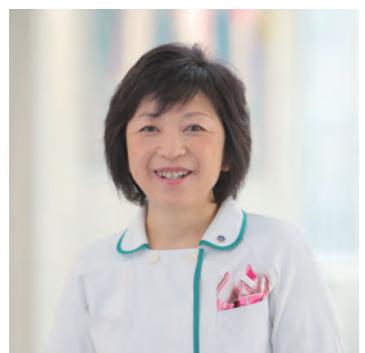
1 対象を全人的にとらえ、健康のあらゆる段階に対してその専門性をもって適切な看護を提供する

2 大学病院の使命を認識し、地域の中心として看護の役割を果たす

3 専門職業人としての研究活動を通じて、新しい看護の創造と実践をはかる

あたたかい看護の探求と実践

看護部長挨拶



「人」を大切だと思える方を、すてきな看護師に育てたい

私たち看護部のポリシー、それは「あたたかい看護の探求と実践」です。あたたかい看護とは患者さんを人としてまるごと理解し、その人にとって適切な看護を提供すること。私たちは、すべての看護職員がポリシーをカタチにできることを理想として、人材育成に力を注いでいます。本院は地域の医療の中核を担い、皆様に信頼いただいている病院です。人を大切にし、自分の役割と責任を果たせると思える方なら、きっとその信頼に応えられるでしょう。私たちと一緒に、質の高い看護実践を目指してみませんか。

副院長兼看護部長 原田美佐

看護部の特徴



1 新人看護師サポート

新人看護師のための研修時間は約116時間！集合教育で知識・技術を学び、所属部署で実践することを繰り返して、着実に臨床能力を高めます。



2 人材育成システム

目標管理・人事評価・キャリアラダーの3本柱で構成されるシステムを活用し、自律した人材の育成を行い、「5年後の自分に夢が持てる」組織作りを目指しています。



3 看護体制の充実

本院はペアラウンド方式を採用し、2人体制で看護を実践しています。より安全で質の高い看護が提供でき、「安心感がある」「学びになる」など好評です。

新病棟竣工

TOPICS



EDUCATION

教育システム
(院内継続教育)

4-6月



ドキドキの
3か月

講義

- 入職時オリエンテーション
- 電子カルテシステム
- 医療安全に関する研修
- 内服薬・貼付剤・外用薬の知識
- 防火訓練
- 静脈注射の基礎知識
- 看護記録の基礎
- 褥瘡予防ケア
- インスリンの知識と管理
- 2か月目の振り返り

技術演習

- 感染対策、清潔操作、電子カルテシステム
- 体位変換・移送・移乗
- 静脈注射 技術編「輸液管理」
- 「輸液ポンプ、シリンジポンプ」
- 静脈血採血
- 導尿・膀胱留置カテーテルの挿入と管理、浣腸
- 皮下注射・筋肉注射
- 吸引・吸入
- 経管栄養管理
- 多重課題シミュレーション



7-9月

講義

- 救急対応を学ぶ
- 抗がん剤の知識と管理
- 看護必要度研修
- 6か月目の振り返り

技術演習

- フィジカルアセスメント
- 静脈瘤置針の挿入
- フォローアップデー



分からぬ
ことは
先輩に聞こう



成長を実感

10-3月

講義

- 麻薬・劇薬毒薬の知識と管理
- ハイリスク注射薬の知識と管理
- 輸血の知識と管理
- 医材センター研修
- 看取りの看護
- 酸素吸入療法と人工呼吸器の基礎知識
- 1年目の振り返り

技術演習

- 心電図モニター
- 12誘導
- 多重課題シミュレーション



1年を振り返って



先輩に支えられ乗り切った一年。今後は「寄り添える看護師」へ

入職時の私は、初めてプロとして臨む現場に戸惑うばかり。学生時代に学んだことも十分に活かせず、目の前のことこなすのに精一杯でした。そんな私を導いてくれたのは、そばにいてくれた先輩です。初めての処置、重症患者さんを受け持つとき…先輩の的確な指導は大きな支えになりました。1年目を終え、まだまだ未熟ですが業務には慣れてきました。今後は患者さんとご家族の両方に寄り添える看護師に、そして先輩のように病棟全体に目配り・気配りができる看護師に、成長できればいいなと思っています。



看護師の一日

DAILY WORK



始業 情報収集



点滴準備



午前 朝のラウンド



休憩前 業務調整



午後 チームカンファレンス



午後 午後のラウンド



終業前 残務の確認

夜間の情報と今日の予定の確認

2人で確認しながら準備

状況を電子カルテに記録

リーダーへの報告

他職種・チームで情報供給

できるだけペアで行動

夜勤者への申し送りも



支え合い、磨き合う。同期=「仲間でライバル」!?

1 あなたにとって同期とはどのような存在ですか？

同期は、一緒に学んで一緒に成長できる存在です。同じ立場だからお互い誰より気持ちが分かるし、落ち込んだときも励まし合えて、元気をもらうことができます。毎日明るく働けるのは、同期の支えがあってこそ！です。

2 同期を意識するときはどんな時？

助け合える存在である一方、負けたくない、置いていかれたくないと思う相手でもあるのが同期というもの。研修や勤務の際、同期の成長を感じるようなことがあると刺激され、「私も頑張らなきゃ！」と思われます。

3 同期とはどのようなことを話していますか？

現場での失敗談や、嬉しかった出来事などが多いです。失敗の共有は、同期が似た失敗をしないためのアドバイスにもなって有益かもしれません。もちろん他愛のない普通の話も。同期との会話でリフレッシュしています。

4 同期に伝えたいことは？

いつも支えてもらっているので、まずは「ありがとう」を伝えたいです！今は覚えることがいっぱいでお互いに大変だけど、これからも一緒に成長して、患者さんに寄り添える看護師になっていきましょうね！

| 身近な先輩に支えられて成長するシステム



プリセプターの 「さりげないアドバイス」に支えられて

入職後には、学生時代に学んだ知識だけでは全く通用しないと痛感しました。現在もまだ、学ぶことの多さに愕然としています。でも、自分の未熟さに落ち込んでいるときにはプリセプターがさりげなくアドバイスしてくれたり、皆さんが励ましてくれたり。周囲の方々の心配りに、何よりも救われている気がします。先輩方から指導いただいたことを必死に書き留めたノートは、私の宝物。これからも、もっともっと成長できるように頑張っていきたいです。

後輩の成長を見ること。 それが新たな「やりがい」に

「自分が新人だったときは、どうだったかな？」。プリセプティと関わるときは、そのことを思い出すようにしています。最初は業務をこなしながら後輩を指導することに困難を感じるときもありましたが、いつしか、後輩の成長を見ることにやりがいを感じるようになりました。私の役目は、後輩が看護の楽しさや、やりがいを感じて働くよう導くことだと思っています。そのためにも、成長した点は具体的に口に出して褒めたり、悩んでいそうなら声をかけたり。少しでも支えになれているなら嬉しいなと思います。

| 本音で答える Q&A

Q1 大学病院というと、どうしても「厳しい」「仕事が大変」という印象がありますが…。

確かに厳しく、大変に見えるかもしれません。高度急性期医療の現場で一人で看護実践をこなせるようになるには、知識や技術が必要だからです。だからこそ研修や技術演習、OJTの指導体制は万全です。成長したい、その気持ちのある方を全力で支援します。

Q2 配属先の希望は聞いていただけますか？

採用試験時に経験したい看護を伺い、可能な限り希望をふまえて配属先を決めています。人員配置の都合上、希望以外の部署からのスタートとなる場合もありますが、定期的な配置転換があるため、入職後にも希望部署に異動できるチャンスがあります。

Q3 休日は月にどのくらいありますか？

休日はおおむね1か月に8日です（4週8休制）。
その他に、年次有給休暇、特別休暇（マイホリデー）などを取得することができます。

Q4 新人看護師の離職率が低いですが、その理由は何でしょうか？

確かにここ数年間、入職1年目の新人看護師については離職者ゼロを達成しています！手厚い指導体制や、定期的な職員満足度調査をもとにした職場改善が根付いているため、新人にとっても居心地の良い職場を実現できているかもしれません。

CAREER

サポート体制も充実のキャリア開発



キャリア開発の4つの特徴

キャリアラダー
ラダー制を採用し、段階的に高い実践能力や役割認識を培います。

継続教育
ラダーのもと切れ目ない目標設定と研修により、成長を促します。

スペシャリスト育成
認定・専門・特定看護師等を目指す方の支援体制を整えています。

院内研修
講演、レクチャー、研究発表会等、多彩な研修の機会があります。

教育サポート体制



教育委員会や継続教育支援室が教育をバックアップ

本院は看護部教育委員会を設けるほか、2007年からは継続教育支援室を設置し、新人看護師の育成や精神的支援などを行ってきました。2016年には、この継続教育支援室をさらに充実させるため、教育担当看護師長を新たに配置。新人だけでなく看護職員全員の継続教育や人材育成を行うことを目的に、力を尽くしています。このように、現場教育をバックアップする部門が活力を増す本院。みんなが適切な教育や指導を受け、着実に「自分が目標とする看護師像」へと歩み進んでいます。

一人ひとりに合わせたキャリア開発

スペシャリスト(専門看護師・認定看護師)



院内認定看護師



「もっと何かできるはず」、
そんな思いから専門看護師へ

勤務していた救命センターでの実践を振り返るなか、強まっていった「もっと何かできることがあったのでは」という思い。私が大学院進学を決めたのは、そのような気持ちからでした。働きながら学ぶことを応援して下さった先輩や部署に支えられ、急性・重症患者看護専門看護師の資格を無事取得することができました。現在は、患者さんやご家族を看護の力で支えるため、多職種と協議しながらより適切なケアを検討・実践する毎日です。専門分野について院内外で教育する機会もあり、多くの人々と出会うなか、日々看護について考えています。

1年間の学びを
実践に活かしていきたい

私ががん看護院内認定看護師を目指した理由は、がん看護そのものの興味もさることながら、心身ともに苦しい治療を受けながら必死にそれを乗り越えようとしている患者さんやご家族のために、何か力になれないかと考えたからです。1年かけて学んだ共通・専門基礎科目や専門科目、演習・実習等の研修参加プログラム。働きながら学ぶことは大変でしたが、とても大きな財産になりました。この学びを仲間とともに実践に活かし、看護の質の向上のために頑張りたいと思っています。

スペシャリストの支援制度

日本看護協会認定看護師・専門看護師・特定看護師への支援、大学院修士課程（看護学分野）・博士課程への進学の支援、認定看護管理者（ファースト・セカンド・サードレベル）への支援とキャリア開発に向けた制度が充実しています。

院内認定看護師の育成

特定の看護分野（救急看護およびがん看護）における看護師を育成し、看護実践を通して全体の質向上を計ることを目的に、院内認定看護師の育成を行っています。



夫として、父として。
家族と協力しながらスキルアップを目指す今

私は7人の子を持つ父親で、実は妻も本院の看護師。夫婦ともに、育児と仕事を両立しながら頑張っています。出産後の妻のサポートと上の子どもたちの育児のため、私も育児休業を取得しました。父親の立場での取得は世間的にはまだ珍しいかもしれません、父として育児を担い、子どもたちと24時間過ごしたことは、家族の仲のよさと強い絆につながっていると思います。今後も看護職としてのスキルアップと育児の両立が図れるよう、子どもたちにも協力してもらいたいながら頑張りたいと思っています。

育児中看護師



LIFE SUPPORT

ワーク・ライフバランスが
整った職場です。



子育て支援

産休は産前・産後とも8週、育児休業は子どもが3歳になる日まで取得できます。男性職員も、育児休業ほか各種制度を利用可能です。育休明けも、育児短時間勤務制度や院内保育施設など、様々なサポートが充実。安心して仕事に復帰することができます。

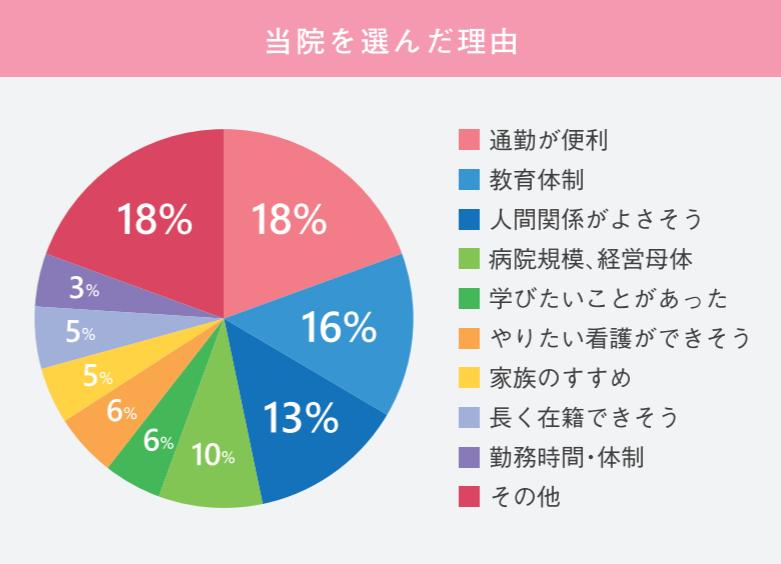
介護支援

職員の中には家族の介護が必要となる年代の職員もいます。本院では、介護のための時短勤務や、年5日までの介護休暇など、介護支援の充実にも取り組むことで、職員の私生活に可能なかぎり配慮しています。

YAMAGUCHI UNIVERSITY HOSPITAL

データで見る山口大学医学部附属病院

職員アンケート結果



27項目中22項目とほとんどの項目で満足回答(非常に満足+まあ満足)が50%を超えてます。

当院満足度

1位 同僚との関係	94%
2位 新入職者へのフォロー	84%
2位 評価が妥当	84%
4位 医師との連携	81%
5位 やりがいを感じられる	78%
5位 上司との関係	78%
5位 患者へのホスピタリティ	78%
8位 教育・研修制度	77%
9位 仕事を通じた成長	75%
10位 能力を発揮できる	73%

※2018年第三者機関による調査
※当院満足度は「非常に満足」「まあ満足」と回答した職員の割合が大きい順

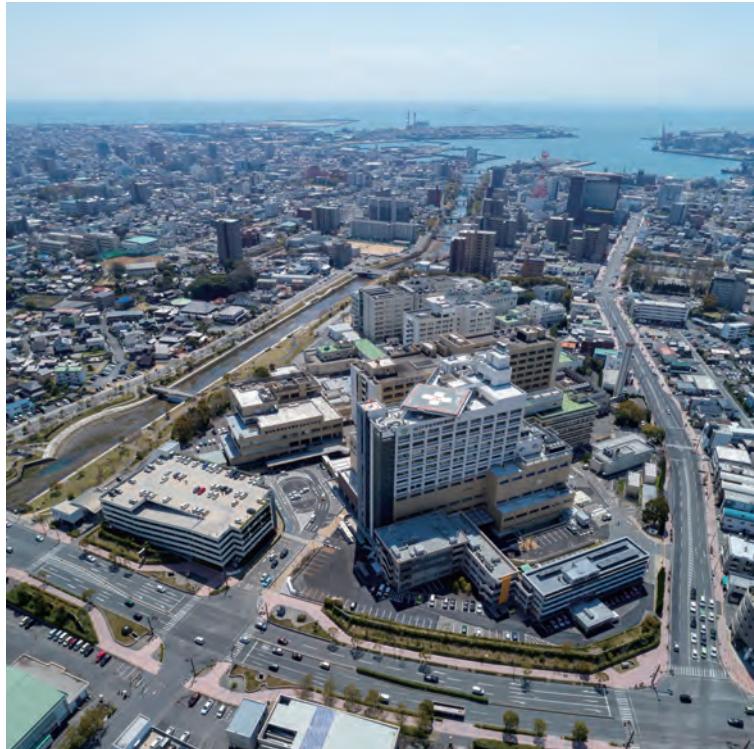
当院のココが自慢! おすすめポイント

- スタッフ間でのコミュニケーションが良好・平等な立場で仕事ができる。
- 医師・先輩看護師が優しく、何でも相談・質問できること。
- 診療科ごとの専門知識を学ぶことができる。
- 休みがとれる、福利厚生が充実している。
- 退院支援に力を入れ、切れ目のない看護を意識している。山口県を背負う三次急救。
- 教育機関であること、自己研鑽しやすい環境。
- 患者さんに対する説明が、医師、看護師とも丁寧。
- 定刻、定時に帰るスタンス、残業をよしとしないこと。
- 向上心を持って仕事ができること、新しい情報や知識が得られる。
- 全部。



私たちと一緒に、 「あたたかな看護」を実践しましょう

私たち看護部は、「ひとりにしない」「全員で育てる」をモットーに、新入職者の皆さんへの支援を行っています。患者さんへはもちろん職員同士も常にあたたかく丁寧であることを意識し、新人にもまたそのように接することで、私たちの理想である「あたたかな看護」の一端を感じていただけると信じています。日々めまぐるしく変化する急性期医療の現場ですが、だからこそやりがいも成長も大きい職場です。ぜひお近くの看護師として、私たちと一緒にこの地域の医療を支えていきましょう。



山口大学医学部附属病院

Yamaguchi University Hospital

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 TEL:0836-22-2681



病院HP



看護部HP